

## 「あきぎんNEXTファンド」による支援決定 ～株式会社エナーバンクへの支援について～

株式会社秋田銀行（頭取 芦田 晃輔）は、投資専門子会社である株式会社あきぎんキャピタルパートナーズ（代表取締役 石川 聡）が運営するあきぎんNEXT投資事業有限責任組合（通称：あきぎんNEXTファンド）を通じて、株式会社エナーバンク（代表取締役 村中 健一、佐藤 丞吾）に投資実行したことをお知らせいたします。本ファンドによる投資実行は、本件が第8号となります。

本件は、JICベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社<sup>(注)</sup>など複数の投資家との共同投資案件であり、株式会社エナーバンクの事業規模拡大のための資金を支援いたします。

当行グループでは、本ファンドによる成長資金の供給を通じて、社会課題の解決のため秋田で新たなビジネスに挑戦する企業を積極的に支援し、地域社会の持続的な成長に貢献してまいります。

（注） JICベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社とは、産業競争力強化法に基づき設立された株式会社産業革新投資機構（JIC）傘下の投資会社です。

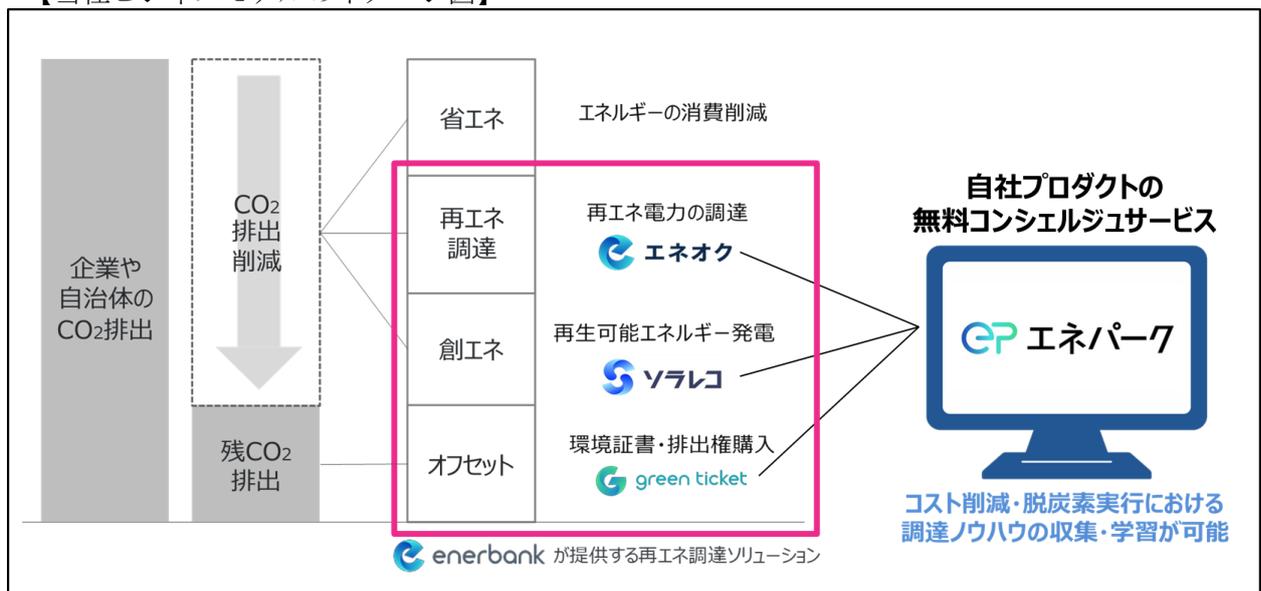
記

### 1 株式会社エナーバンクについて

株式会社エナーバンクは、「エネルギー調達をもっとシンプルに」をビジョンに掲げ、再エネ調達・創エネ・カーボンオフセットに関するサービスの展開により、企業や自治体の脱炭素化を支援しています。

2024年3月には、八峰町と「町内産再生可能エネルギー電力の利用促進に関する連携協定」を締結し、八峰町内で発電された再エネの地産地消や地域還元につながる取組みを行っています。株式会社エナーバンクが提供する再エネ調達のソリューションなどを活用し、県内の電力需要家と再エネ電源をマッチングする仕組みは、全国的なロールモデルとなる可能性があるとして注目されています。

#### 【当社ビジネスモデルのイメージ図】



## 2 出資先の概要

投資先名	株式会社エナーバンク
代表者	代表取締役 村中 健一、佐藤 丞吾（八峰町出身）
住所	東京都中央区日本橋二丁目1-17 丹生ビル2階
事業内容	○ 電力オークション「エネオク」の開発、運営 ○ 環境価値取引プラットフォーム「グリーンチケット」の企画、販売 ○ 太陽光発電設備導入支援事業「ソラレコ」の企画、販売 ○ エネルギー調達・脱炭素化のためのコンシェルジュ「エネパーク」の開発、運営

## 3 出資内容

出資日	2024年11月15日（金）
出資形態	第三者割当による株式の引受け
投資金額	50百万円

## 4 当ファンドの概要

名称	あきぎんNEXT投資事業有限責任組合 （通称 あきぎんNEXTファンド）
ファンド総額	10億円
出資者	有限責任組合員（LP） 株式会社秋田銀行 無限責任組合員（GP） 株式会社あきぎんキャピタルパートナーズ
存続期間	約10年間
設立日	2023年8月1日（火）
投資対象	○ 創業・起業期および創業・起業10年未満の企業、第二創業・新事業を展開する企業 ○ 地域に欠かせない技術・顧客基盤等を有し、事業承継の課題を抱えている企業 ○ 地域活性化に資する事業を行っている企業

## 5 投資実行先一覧

	企業名	事業内容
第1号	Cranebio 株式会社	フェムテック製品の開発・製造
第2号	発酵パーク株式会社	まちづくりに関するサービス提供、宿泊業
第3号	双日由利農人株式会社	タマネギ生産にかかる営農サポート
第4号	事業承継案件（非公表）	
第5号	TOYOSHIMA FARM 株式会社	ブドウ栽培、ワイン醸造
第6号	株式会社このほし	森林資源活用コンサルティング
第7号	新製品開発案件（非公表）	

（以上）



### SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標であり、2030年までに解決すべき世界的優先課題17目標と目標を達成するための169のターゲットが示されています。